

自ら学ぶ教職員 活動報告書

グループ名 課題探究型学習の指導方法を探究する会

テーマ 岐阜を愛する生徒の育成に向けた課題探究型学習の指導方法の探究。各校内へのその必要性の伝達。

取組のポイント・成果

取組の内容とポイント

- ① 月に1回の（一社）ココラボ主催オンライン探究交流会に参加した。
毎月第3水曜日午後8時00分～午後9時00分「オンライン探究交流会」[6月から1月実施]
進行：ココラボ伊藤大貴氏
参加者：県内教員15名
成果：定期的なミーティングを行うことによって、探究学習の在り方を難しく議論するのではなく、日頃の何気ない取り組みや成功体験を共有して、疑似体験することができた。困っている学校やメンバーの事例を研究して、共に解決に向けて努力することができた。
- ② オープンチャット「岐阜県の探究学習を考える会」を開設し、情報共有した。
参加者：県内教員15名
成果：イベントの開催などの情報共有のみならず、各自が作成した探究学習用プリントの送受信を行うなど、情報交換のための貴重な場となった。
- ③ 主催事業として、オンライン探究勉強会を開催した。
10月30日（日曜日）午後2時00分～午後16時30分「オンライン探究勉強会」
月に一度のオンライン探究交流会において、探究での問いの立て方の指導が難しいという話が出た。大学などの高等教育機関との連携を図り、滑らかな接続ができるようにするために、探究学習や課題探究(PBL)型の授業が展開されている大学の先生を講師に招き、講演をしていただくことにした。（一社）ココラボ伊藤大貴氏からの紹介及び伴走支援のもと、福知山公立大学准教授杉岡秀紀氏に講演をしていただいた。
進行：ココラボ伊藤大貴氏
参加者：県内教員15名
成果：探究学習を先進的に進めている京都府内の高等学校の事例を学ぶ中で、「探究心とは自らの心の中から溢れ出る、深い喜びと共に在る」ということを実感することができた。
- ④ 生徒による探究活動の発表（アウトプット）を行った。（マイプロジェクト岐阜県 summit にも参加）
1月下旬、岐阜県 summit は1月29日（日）
参加者：県内生徒（岐阜県 summit には構成員の勤務校からは1名参加）
成果：生徒は自分の探究テーマや悩みを模造紙にまとめ、相互にアドバイスをし合った。

今後の課題

- ①各学校の成果や成功例を共有することはできたが、依然として失敗例は少なく、それを共有したり、協力して解決したりするところまでたどり着くことが今後の課題である。
- ②参加者の中で成果を共有することはできたが、岐阜県内全ての学校に探究の進め方や成果を発信することはできなかった。今後は、よりメンバーを増やし、岐阜県内の全ての学校の情報を提供していただき、課題解決に向けて努力していきたい。